

平成 16 年度 地震関係基礎調査交付金

伊勢平野に関する地下構造調査

成果報告書

付録 5 測量作業概要および測量成果

1. 作業概要

(1) 作業地域

LINE-1 三重県津市、鈴鹿市、安芸郡河芸町

LINE-2 三重県四日市市

(2) 作業者及び期間

作業者	期 間
嶋田 靖久	自 平成 16 年 7 月 26 日 ~ 至 8 月 11 日
朝日 哲夫	自 平成 16 年 7 月 26 日 ~ 至 8 月 10 日
渋谷 豊憲	自 平成 16 年 7 月 26 日 ~ 至 8 月 8 日
池田 哲	自 平成 16 年 7 月 26 日 ~ 至 8 月 8 日

(3) 主要機材

機 材 名 称	摘 要	数 量
車 輛	ワゴン車	1 台
トータルステーション	トプコン CS-101	1 台
データコレクタ	トプコン FC-7	1 台
計算ソフトウェア	アイサンテクノロジー Wing-Neo	1 式

2. 測量方法

(1) 測線測量

計画測線上に受振点を LINE-1 は 25m (標準)、LINE-2 は 10m (標準) 間隔でそれぞれの位置を木杭で表示した。

(2) 多角測量

国家三角点を与点として、測線付近に多角測量及び細部測量を実施した。

(3) 水準測量

多角測量と同時に間接水準測量を実施した。

(4) 使用基準点

本作業で使用した国家三角点を以下に記す。

LINE-1

点 名	等 級	1 / 5 万地形図名
稲生村	三等三角点	四日市
千里ヶ丘	四等三角点	津東部

白塚村	三等三角点	〃
大部田村	〃	〃

LINE-2

点名	等級	1/5万地形図名
南福崎村	三等三角点	桑名
船員会館	四等三角点	四日市

(5) 測地諸元

本作業で使用した測地諸元を以下に記す。

準拠楕円体	GRS80
長半径	6,378,137.000m
短半径	6,356,752.314m
投影法	TM 図法
座標系	平面直角座標 第6系
座標原点 緯度	36-00-00 N
〃 経度	136-00-00 E
縮尺係数	0.9999
北方加数	0.0 m
東方加数	0.0 m

以下に測量成果を示す。ただし、既存資料の多くは準拠楕円体として BESSEL を用いている場合が多いので、これらとの対比のために、以下のパラメータに変換した結果も併記する（愛知県の結果との対比も考慮し、投影図法は TM 図法 7 系とした）。

準拠楕円体	BESSEL
長半径	6,377,397.155m
短半径	6,356,078.963m
投影法	T.M.図法 7系
座標原点 緯度	36° 0' 0" N
座標原点 経度	137° 10' 0" E
縮尺係数	0.9999
北方加数	0.0m
東方加数	0.0m